



教育目標「希望に燃えて
心やさしく、人を大切にする子
自分を表現し、相手を大切にする子

伸びゆかん」
自分の考えをもち、共に学び合う子
ふるさとを愛し、誇りに思う子

〒625-0133 舞鶴市字平 1583 番地
TEL (0773)-68-0002
FAX (0773)-68-0007
HP <https://oura-maizuru.edumap.jp/>

思いをつなぐ6年生を送る会

6年生が修学旅行で訪れた奈良の東大寺二月堂のお水取りが話題となる時期になりました。まだまだ肌寒さを感じる毎日ではありますが、少しずつそして確実に季節は春に向かっていきます。

さて、2月23日(祝)には「6年生を送る会」を開催し、全校児童が6年生への感謝の気持ちを表すとともに、1年間の学習成果を発表することで卒業を祝いました。みんなの参観日から1ヶ月という短い準備期間ではありましたが、実行委員を中心に懸命に準備を進めてきた甲斐があり、どの学年の発表も心のこもった素晴らしいものになりました。また、本年度は参観人数等の制限もなく、本当にたくさんの皆様に御参観いただくことができました。ありがとうございました。

1～5年生の子ども達は、6年生の先輩たちが大浦未来学で真剣に課題に向き合ってきたこと、運動会等の学校行事や取組で創意工夫して活動してきたこと、下級生を気遣いながら登校班長として安全に引率したことなど、最高学年として力いっぱい頑張ってきた良き姿をしっかりと感じ取り、表現することができていました。相手の「よさ」に目を向け、その「よさ」を感じ取り、感謝の言葉で伝えるという行為は、関係性の絆がなければ容易にできることではありません。在校生には、大浦小学校ならではの充実した関わりの中でこそ育まれる絆の強さと、良き伝統をしっかりと受け継いでほしいと思います。

6年生は、卒業式まで残すところ登校日数13日となりました。いよいよ卒業証書授与式に向けた練習も始まり、それと同時に自分の足跡を一つ一つ確かめながら6年間の学習や生活についての総まとめをします。限られた時間の中で意義深い学校生活を送ってほしいと心から願っています。

また3月は、1～5年生の児童にとっても、各学年のまとめと次の学年への準備をする大切な時期になります。一人一人の児童にとってよき節目となる卒業証書授与式、修了式が迎えられるよう、職員一同、力を合わせて頑張ります。保護者・地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

中川 靖彦 教職員一同



「みんなで創り上げた6年生を送る会」5年生作文

ぼくは送る会が成功したと思う。会場で泣いている人を見た。その人たちは感動したと思う。自分たちの劇でぼくは少しミスをした。けど、みんなが教えてくれた。少しはすかしかったけど全力でやりきれた。終わった後の拍手がぼくはとてもうれしかった。来年はぼくたちが6年生だから、今までの学年にしてもらったことを全力で伝えたいと思った。

私は今まで練習してきた成果を発揮できたと思います。そして6年生に喜んでもらうことができたと思います。

初めての実行委員会では、5年生はテンションが低く、うまくいきませんでした。だから5年生で反省をして二回目や三回目はうまくいきました。

そして、本番がきました。自分のセリフを言った時、うまくいきそうだと思いました。そして歌です。この歌で6年生に感謝が伝わっていたらいいです。

一人一人の言葉が6年生に伝わっていたらうれしいです。次は私たちが最高学年になるのでがんばりたいです。

もう最高だった。それしか言葉が出なかった。一つ目は、みんなてきばきしていた。おそらくみんな緊張していたのだろう。それが良さにつながり、頭の回転が速くなったのだろう。二つ目は、発表の質だ。6年生に感謝を伝えなければと気持ちがいもこもり6年生が感動するのに導けた。

